

EC加盟店の皆様へ

非通過型システムの導入推進について

インターネットショッピングでクレジットカード決済を取り扱う際にはPCI DSS^(※)に準拠した決済代行事業者(PSP)に処理を委託することで、加盟店がカード情報を保持することのない、安全なクレジットカード決済が可能となります。

一般にPSPが提供するECにおけるカード決済の方式には、「リンク型」「JavaScript型」「モジュール型」の3つの方式がありますが、経済産業省及び日本クレジット協会では、カード情報の非保持化を実現できる非通過型システムである「リンク型」「JavaScript型」を推奨しております。

なお、2018年6月までに施行予定の改正割賦販売法の下では、加盟店においてもカード情報の適切な管理が義務付けられ、非保持化又はPCI DSS準拠が行われていない場合には、加盟店契約が解除される場合もありますのでご注意ください。

※PCI DSS (Payment Card Industry Data Security Standard) とは

PCI DSSは、カード情報を取り扱う全ての事業者に対して国際ブランド (AmericanExpress、Discover、JCB、Mastercard、Visa) が定めたデータセキュリティの国際基準です。

1 非通過型システム(リンク型、JavaScript型)をおすすめする理由

「通過型(モジュール型)」は、カード情報がEC加盟店の機器・ネットワークを「通過」して「処理」されるため、EC加盟店に意図せずカード情報が「保存」されることがあります。このため、外部からの不正アクセスやマルウェア等により「保存」されていたカード情報、又はシステム改ざんや機器の脆弱性により「通過」するカード情報を窃取されるリスクが高くなります。そのため、非保持化にはならないため、PCI DSS準拠が必要となります。

一方、「非通過型(リンク型、JavaScript型)」は、カード情報がEC加盟店ではなく、PSP^(注)の機器・ネットワークを「通過」して「処理」され、EC加盟店ではカード情報が「通過」「処理」「保存」することはないため、EC加盟店における非保持化を実現するセキュリティ措置として推奨しております。

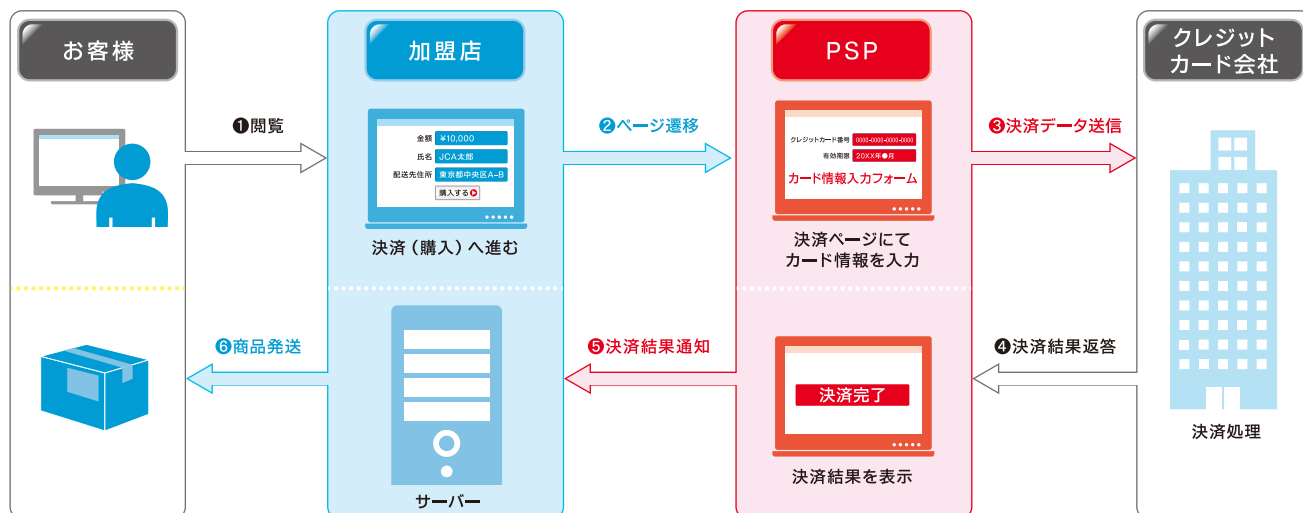
(注)PCI DSSに準拠したPSPに処理を委託してください。

2 ECにおけるカード決済の方式について

①リンク型〈非通過型〉

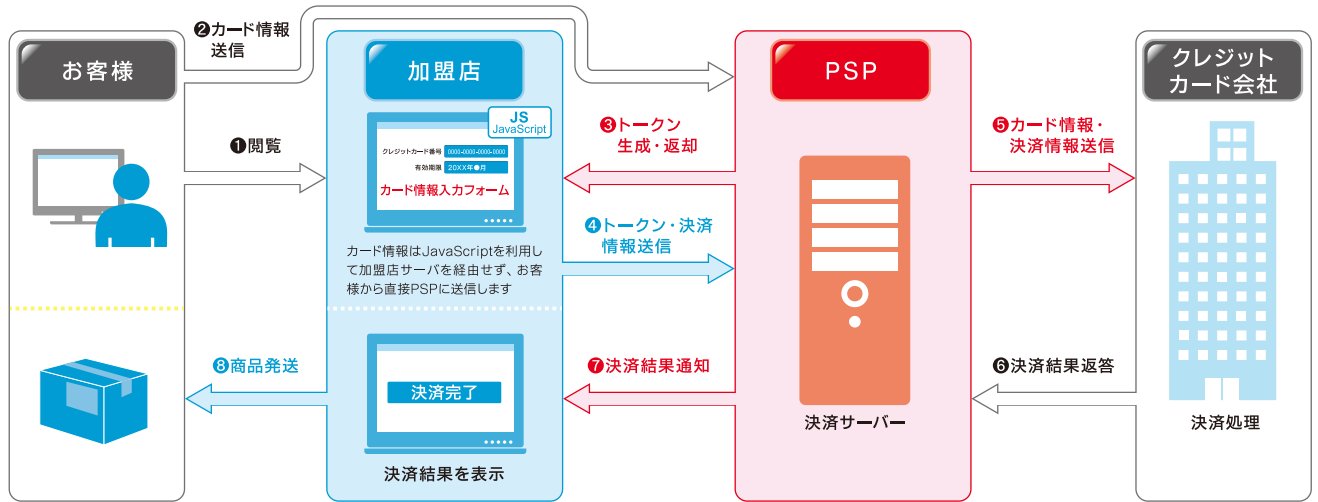
PSP決済画面へのリンクで導入できる、システム投資と負荷が比較的にかからない簡単な接続方式です。

比較的安価にクレジットカード決済機能を導入されたい方、カード情報を保持せず運営されたい方におすすめです。



②JavaScript型〈非通過型〉

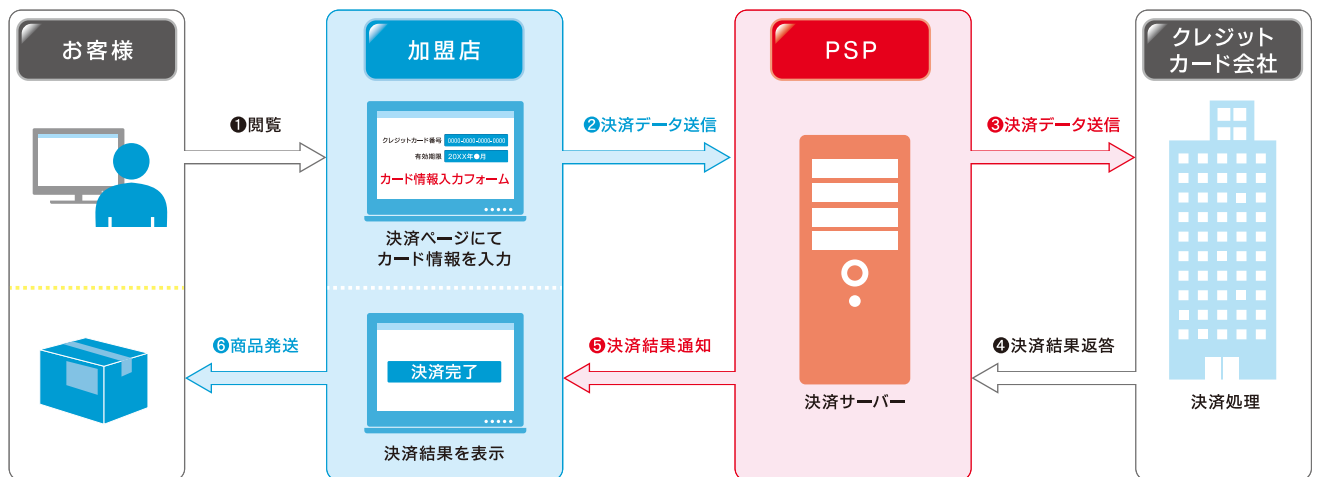
加盟店のクレジットカード情報入力画面に、PSPが提供するJavaScriptプログラムを組み込み、決済を行っていただく方法です。カード情報はJavaScriptを利用して加盟店サーバを経由せず、お客様から直接PSPに送信するため加盟店でカード情報を保持しません。カード情報を保持せず、自社サイトの決済画面をご利用されたい加盟店におすすめです。



※トークンは、クレジットカード情報を代替するパラメータです。加盟店はお客様がPSPに送信したカード情報を元に生成されたトークンを利用して決済を行います。

③モジュール型〈通過型〉

加盟店がお客様から取得したカード情報をPSPへ送信していただくことで決済処理が行われます。この場合、非保持化にはならないため、加盟店でのPCI DSS準拠が必要となります。



3 非通過型(リンク型、JavaScript型)と通過型(モジュール型)の違い

	非通過型		通過型
	リンク型	JavaScript型	モジュール型
加盟店でのカード情報の非保持化	○ 非保持化	○ 非保持化	× 保持(PCI DSS準拠が必要)
サイト遷移	サイト遷移あり 決済画面は、PSPのサイトへ遷移します	サイト遷移なし 決済画面は、加盟店のサイトから遷移しません	サイト遷移なし 決済画面は、加盟店のサイトから遷移しません
決済画面のデザイン	PSPのデザイン PSPがデザインした決済画面になります	加盟店のデザイン 加盟店のサイトなので、独自にデザインした画面をご利用いただけます	加盟店のデザイン 加盟店のサイトなので、独自にデザインした画面をご利用いただけます